記入例

別紙３－２

特定事業所加算に関する届出書（重度訪問介護）

令和 4 年 3 月 15 日 提出

事業所の名称	ヘルパーステーションなごや	異動区分（該当の番号に○）	１ 新規　２ 継続　３ 変更
適用年月日	令和4年4月1日		

届出項目（該当の番号に○）	１ 特定事業所加算（Ⅰ）①～⑪すべて適合	２ 特定事業所加算（Ⅱ）①～⑦と⑧又は①～⑦と⑨と⑩に適合	３ 特定事業所加算（Ⅲ）①～⑦と⑪に適合

別紙「特定事業所加算　算定基準確認票」で必ず要件を確認し、各要件の空欄に○をつけること。

	Ⅰ	Ⅱ		Ⅲ
〔 体 制 要 件 〕	↓	↓	↓	↓
① 個別の重度訪問介護従業者に係る研修計画を策定し、当該計画に従い、研修を実施している又は実施することが予定されている。			○	
② 重度訪問介護従業者の技術指導等を目的とした会議を定期的に開催している。又は、サービス提供責任者が重度訪問介護従業者に対して、個別に技術指導等を目的とした研修を必要に応じて行っている。			○	
③ サービス提供責任者が重度訪問介護従業者に対して、毎月定期的に利用者に関する情報やサービス提供に当たっての留意事項を伝達している。（変更があった場合を含む。）			○	
④ 重度訪問介護従業者に対する健康診断の定期的な実施体制を整備している。			○	
⑤ 緊急時等における対応方法を利用者に明示している。			○	
⑥ 新規に採用したすべての重度訪問介護従業者に対し、熟練した重度訪問介護従業者の同行による研修を実施している。			○	
⑦ 重度訪問介護従業者の24時間派遣が可能となっており、現に深夜帯も含めてサービス提供している。			○	
〔 人 材 要 件 〕	↓	↓	↓	↓
⑧ 重度訪問介護従業者に関する要件について 下表の(1)については必ず記載すること。(2)・(3)・(4)についてはいずれかの記載可。				

計算シートの数値と一致していること

計算シートで、要件の有・無をチェックすること

	※（ア）～（オ）については、計算シートの（ア）～（オ）の数字を記入すること。	常勤換算職員数	サービス提供時間
(1)	重度訪問介護従業者の総数	（ア） 人	（イ） 時間
(2)	（1）のうち介護福祉士の総数	（ウ） 人	
(3)	（1）のうち介護福祉士、実務者研修修了者、介護職員基礎研修課程修了者及び１級課程修了者の総数	（エ） 人	
(4)	前年度又は前３月の期間におけるサービス提供時間のうち、常勤の重度訪問介護従業者によるサービス提供の総時間数		（オ） 時間

(1)に占める(2)の割合が３０％以上

(1)に占める(3)の割合が５０％以上

(1)に占める(4)の割合が４０％以上

⑨ すべてのサービス提供責任者が３年以上の介護等の実務経験を有する介護福祉士又は５年以上の実務経験を有する実務者研修修了者、介護職員基礎研修課程修了者若しくは１級課程修了者である			○	
⑩ 複数のサービス提供責任者の配置が必要な場合、常勤のサービス提供責任者が2人以上（複数のサービス提供責任者の配置が不要な場合は、○を付してください。）			○	
〔 重 度 障 害 者 対 応 要 件 〕	↓	／	／	↓
⑪ 前年度又は前３月の期間における利用者（障害児を除く）の総数のうち、障害支援区分５以上である者及び喀痰吸引等を必要とする者（登録事業者に限る）の占める割合が５０％以上				

添付書類	
	従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表（別紙2-1）及び組織体制図（参考様式15）
	特定事業所加算（重度訪問介護事業所）の届出に係る**計算シート**（別紙3-2-2）
	人材要件⑧及び⑨に該当の場合：加算要件に該当する者の**資格証明書**の写し
	人材要件⑨に該当の場合：加算要件に該当する者の**実務経験証明書**（参考様式4）
	※資格証明書の写し及び実務経験証明書については、加算適用月の1日に事業所に在籍する者の分を添付してください。

（注）前年度に当該加算を算定しており、新年度も引き続き算定するものとしてこの届出書を提出する場合には、「異動区分」欄において「２　継続」に○を付すこと。